



生駒市立大瀬中学校 学校だより

第 13 号
令和8年1月16日
大瀬中学校TEL77-7891



睦月

3学期スタート！

～新たな始まり「節目」を大事に～

1月7日に始業式を終え10日経ちました。始業式翌日は早速、実力テストや冬休みの課題確認テストなどからスタートしました。その週の月曜日から「寒の入り」、一年で最も寒い時期を迎え、始業式では以下の3つの話をしています。

- ① 寒さの中こそ胸を張ってはつらつと生活すること
- ② 感染対策などの凡事徹底
- ③ 「節目」の時期を大事にすること

特に、一年の終わりと始まりを含んだ冬休みを終え、学年末の新しい学期を迎えたことについて、「節目」という言葉の語源が「竹の節」にあることを紹介しました。竹の成長は速く、24時間で100cm伸びるデータもあり、上へ伸びた竹が倒れることなく生長するのは節が竹全体のしなやかさを保つ役割をしていること。そのことから転じて、日本伝統の中で、物事の大切な区切りを示す言葉として「節目」という言葉が用いられていること。

入学や卒業が人生の節目と言われると共に、学期の始めや終わりも大切な節目として捉え新しいスタートとしてよりよい成長を目指して欲しいと思います。

3学期も自分のクラスや学年、大瀬中学校全体をチームとして共に進んでいきましょう！！

3年生は面接練習など受験に向けて頑張っています!!

昨年12月から面接の練習を一緒にさせていただく機会が増えています。私は模擬面接する前に学級や個人で練習してくれていると思いますが、動作が美しく、話す内容はもちろん話し方もとても落ち着いて立派です。3年間学んできたことの充実感や入学後の意気込みもよく感じられます。本番は受験する学校によって日が異なりますが自信をもって臨んでください。

こうした面接で発揮される所作や言葉の美しさはすぐには身につきません。日頃からの習慣がとても大切であると思います。特に言葉遣いに関しては咄嗟のときに普段の言葉が出ますから日常生活を丁寧に過ごしましょう。

大瀬中学校あいさつ活動 ～地域学校協働活動として～

新年最初の地域学校協働活動として大瀬中学校あいさつ活動が早速、始業式の朝にありました。この日もとても寒い風の冷たい一日の始まりとなりましたが、ティッシュを配りながら地域の方が登校してくる生徒にあいさつで声をかけながら正門に立ってくださいました。

新しい学期の始まりの清々しいスタート。登校する生徒の中には新年の挨拶を丁寧にしてくれた人もありました。朝からとてもうれしい、素敵なスタートとなりました。

